

# 私たち学生にできる国際協力

～ラオス、カンボジア、フィリピンに着目して～

環境人間学部 環境人間学科

准教授 いぬいみき 乾美紀、3 回生 ◎ふじおかまさし 藤岡真士 はらだまさや 原田雅也  
くめまい 久米真依 やまもとえり 山本恵里

## キーワード

学生ができる国際協力、支援団体の比較、ラオス、カンボジア、フィリピン

## 研究概要

近年、国際協力への関心を持つ学生が増加してきている。関西圏だけでも数多くの学生国際協力団体（以下、学生団体）が存在しており、それらすべてが今も活発に活動している。学生団体の組織規模で行っている活動は組織ごとに異なり、非営利組織（NPO）と連携して活動している団体と、ほとんどの活動を学生のみで行っている団体とがあり、他機関との連携や支援の仕方までもが異なっている。

私たちは、それぞれが異なる団体に所属している。原田は学生団体 CHISE（チーズ）に所属し、ラオスの山岳地帯で学校建設支援を行っている。藤岡と久米は NPO 法人 HERO に所属し、カンボジアで学校建設や現地でビジネスを立ち上げ、その利益から資金支援を行っている。そして山本は NPO 法人 CFF に所属し、親のいない子どもたちの住む「子どもの家」の建設、またその子ども達との交流を行っている。

本研究で伝えたいことは2つある。1つ目はそれぞれの支援国であるラオス、カンボジア、フィリピンの3ヶ国でどのような教育支援が必要とされているか報告することである。2つ目は、学生の所属団体（学生団体か NPO か）によって、学生にできる国際協力がどのように異なるかについて明らかにすることである。私たちが所属する団体は、学生のみで運営している団体（CHISE）と社会人の方が運営している団体（HERO、CFF）とがある。その2つの比較を試みる。

## アピールポイント

本発表のアピールポイントは、実際に発表者らが関わる団体の活動を考察するとともに、現地に足を運んで現地の人と共に活動したことを伝えることである。学生団体 CHISE は学生のみで運営し、年に2度ラオスに足を運び、自分たちで考えた授業などを現地の小学校で行っている。学生のみで運営しているため、金銭面などに限界はあるが、学生ならではの発想で活動を深めることができる。また、休日に募金活動を行うなどして、援助資金の調達も自分たちで行っている。一方 NPO 法人である HERO と CFF で活動する学生は、NPO が持つ豊富な人脈や資金をおおいに活用しながら、ダイナミックな活動をすることができる。たとえば、学校建設以外にも図書館の建設や日本人看護師による健康診断などを行ってきた。このように、学生のみで運営する場合と NPO が運営に携わっている場合とで違いがみられる。本研究では、両者を比較しながら、学生ができる国際協力とは何かを考えていく。

私たちはこれまで、それぞれの国で実際に小学校や孤児院に行き、支援を行ってきた。ポスター発表では、テレビや本で調べた内容ではなく、実際に訪れてみて感じたことについて、国ごとの教育制度の違いや歴史的背景と照らし合わせながら解説していく予定である。